

令和5年度 ボランティア保険のご案内

◎ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償します。

◎補償期間（保険期間）

令和5年4月1日午前0時から令和6年3月31日午後12時まで

※中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から令和5年3月31日午後12時まで

◎保険料（1名あたり）

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
保険料	350円	500円	550円

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは地震、噴火、津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

◆中途での、ご加入プランの変更はできません。

◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

◆新型コロナウイルス感染症については、現在『指定感染症』の扱いですが、今後変更となる可能性があります。

◎ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における主催者や参加者のケガ、主催者の賠償責任（主催者責任）を補償します。



◎補償期間（保険期間）

行事開催期間（加入申込完了日の翌日午前0時以降の行事開催日から補償されます。）

◎保険料（1名あたり）

Aプラン（宿泊を伴わない行事）		
A1行事	A2行事	A3行事
1日 28円 （最低保険料 560円）	1日 126円 （最低保険料 2,520円）	1日 248円 （最低保険料 4,960円）

※ Bプラン（宿泊を伴う行事）、Cプラン（宿泊を伴わないかつ参加者が事前に特定できない行事）もあります。



善意の物品寄付に対し、心より
お礼申し上げます。

- 古切手
- 浜田市役所
- 新聞コミバック
- くにフラの会
- 瓦田 富子
- JAしまね 女性部

善意のお礼

令和4年9月1日～令和5年2月28日の期間中、次の収集ボランティアさんにご協力いただきました。
ありがとうございました。
（順不同・敬称略）

はまボラ

～浜田のボランティアセンター情報～

福祉体験学習

今年度もたくさんの小・中学校から、福祉体験学習のご依頼をいただき、あいサポート研修や手話、アイマスク（ブラインドウォーク）体験や車いす体験などを行ないました。

また、島根オロチビート浜田さんにも協力を頂き、『ブラインドサッカー』の体験を行いました。「障がいと苦手は一緒です」と、スポーツを通じて分かりやすく教えて頂き、学びを深める事ができました。

さまざまな障がいの特性や必要な配慮、ちょっとした手助けの仕方についてなど、たくさんのことを学び、この体験や学びを通して、地域で困っている人を見かけたら、ちょっとした手助けや配慮のできる、相手を思いやる気持ちをこれから育てていってほしいと思います。

【疑似体験】



◇石見小学校



◇浜田東中学校



◇周布小学校

【ブラインドサッカー】



◇長浜小学校



◇三階小学校



◇長浜小学校

社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会 ボランティア情報誌 令和5年3月発行
編集発行 浜田市ボランティアセンター 〒697-0016 浜田市野原町859-1
TEL: 0855-22-0094 FAX: 0855-22-6930

ボランティア養成講座

◇ あいサポーター研修 ◇

9月13日(火)、浜田市総合福祉センターにおいて、10名参加のもとボランティア養成講座のあいサポーター研修を開催しました。

この研修は、多様な障がいの特性を理解し、障がいのある方へ必要ときにちょっとした手助けができる方を養成し“やさしくて温かい地域社会づくり”を目的に開催しています。

講座では当事者の方からのメッセージもある島根県版のDVDから各障がい者の特性について学びました。最後には簡単な手話を行い、参加した方も理解しやすい内容になったと思います。



◇ 認知症サポーター養成講座 ◇

10月13日(木)、浜田市総合福祉センターにおいて、14名参加のもと認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症は誰でも起こる可能性のある脳の病気です。そんな認知症に対する正しい知識と理解を身につけるため、認知症キャラバンメイトの吉川 優子氏に、認知症の方と接するときの心構えや配慮(支援)の仕方など、分かりやすく講義をいただきました。

周りの方々の温かいサポートがあれば、認知症になっても新しい人生をつくることのできる、できることを奪わないことが大切だと改めて実感する講座となりました。



◇ はじめての手話講座 ◇

2月17日(金)、11名の方にご参加いただき、『はじめての手話』講座を開催しました。

益田市聴覚障害者協会事務局の中井 伸之さんを講師に迎え、手話や聴覚障がいの特性とその配慮について、手話での伝言ゲームなどを交えてとても分かりやすく、楽しく教えていただきました。

日頃、健聴者として地域で暮らしている中では気づくことのできない、聴覚障がいのある方が感じる不便さや排他的な扱いがあることを知り、聴覚障がいも人それぞれに特性が違い、その方に合わせた配慮が必要であることやコミュニケーションをより丁寧に「やさしい日本語」で接することが大切であると、学ぶことができました。



※令和5年度もあいサポーター研修・認知症サポーター養成講座を計画しています。

車いすバスケットボール体験

11月25日(金)、浜田市立第四中学校の全校生徒、2月9日(木)、浜田市立三隅中学校の1年生に三光スイーパーズさんを講師に迎え、『車いすバスケットボール体験』を行ないました。

車いすバスケットには、出場5人にチーム構成には障がいのレベルによる持点制があり、1チーム14点未満で構成されることも説明してもらい、『重度の障がい者も必ず参加しなければチームをして成り立たない素晴らしいルールがある』と、生徒たちも真剣に講師のお話を聞いていました。

また、『誰でもできないことを探すとマイナスにしかならない。できることを探してできることを伸ばしていくことが大切。』とパラスポーツのすばらしさについてお話しいただきました。

実際のゲームではシュートが決まると、周りの生徒もみんな喜び、とても良い雰囲気の中で学びを深めることができました。

【車いすバスケットの様子】

◇三隅中学校



◇第四中学校



あいサポートメッセンジャー研修



11月17日(木)、浜田市総合福祉センターにおいて、16名の方が参加しあいサポートメッセンジャーフォローアップ研修を行ないました。

あいサポートメッセンジャーとは、日常生活の中でちょっとした手助けを行なう「あいサポーター」を普及するための講師役のことです。この研修では、他市の活動内容や動画を通してメッセンジャーの『講義スキル』と『運動の輪を広げる力』を高めることを目的としています。

参加者からは、「型にはまった研修でなくても良いので、それぞれが得意な伝え方ができることを確認できて良かった」「幅広く啓発していくようチラシや広報等でもPRもしていく必要がある」等感想をもらい、メッセンジャーが定期的に集まっての研修会の必要性を感じました。

